

令和3年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立十二町小学校

＜本年度の重点目標＞

挑 戦 す る 子 供

	アクションプラン1	アクションプラン2	アクションプラン3
重点課題	表現力の育成	思いやりの心の育成	健やかな体づくり
前年度の課題	・ステップアップブックの活用や対話タイムの設定により、話題に沿って聞いたり話したりする意識が高まってきている。今年度も継続して対話の場を充実させ、「対話タイム」だけでなく、授業中においても自分の思いや考えを伝えることができるように手立てを工夫する。 ・思いやりのある行動の例を示したり、振り返りの場をもったりしたことにより、保護者からの評価は全般的に高まったが、児童の意識は目標値に達していない。昨年度の後半は、挨拶運動を推進することで、元気な挨拶をする児童が増えてきた。今年度は、日常的にほかほか言葉を用いるよう推進したり、思いやりのある行動を見付けたりできるよう、手立てを工夫する。 ・「すこやかチェックカード」等を活用し、メディアの利用時間の目当てをもたせたり、メディア利用に関する指導を全体や個別で行ったりした。その結果、児童・保護者共にメディアの利用時間を減らそうという意識は高まってきたが、目標値には達しなかった。引き続き、自分のメディア利用の仕方について見直し、規則正しい生活習慣を身に付けることができるように手立てを工夫する必要がある。		
具体的な達成目標 (数値目標)	・相手の話を聞き、話題に沿って、自分の思いや考えを話して伝える児童が80%以上 (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B評価)	・学校や家庭、地域等で、誰にでも思いやりのある言葉遣いや行動をしている児童が85%以上 (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B評価)	・1日のメディア利用時間が2時間以内の児童が80%以上(休日は3時間以内) (児童自己評価・保護者評価：4段階評価のA・B評価)
行動Ⅰ (方策)	・学びのステップアップ週間に、学びのステップアップブックの話し方・聞き方から重点項目を決め、学級で取り組むことで、話す・聞くスキルが身に付くようにする。 ・縦割りグループで「対話タイム」を行い、より発言の機会が増えるようにする ・授業でも対話の場面を積極的に取り入れるようにする。	・学級ごとに思いやりのある言葉を考えたものや、思いやりのある行動を見付けて記入したカードを教室内に掲示して、思いやりのある行動を日常的に推進する。 ・学級内で思いやりのある行動を賞賛し、互いを認め合う機会を日常的に取り入れる。 ・ほかほか週間に「思いやりのある行動」を見付け、カードに記入したものを放送で全校に広める。	・「すこやかチェックカード」や児童保健美化委員会で行っている「すこやか調べ」等を活用し、メディアの利用時間の目当てをもたせたり、頑張っている児童を紹介したりして、メディアの利用時間を減らすことを意識付ける。 ・実践に結び付くように、学級指導や個別指導を充実させたり、家庭にルール作り等の協力を呼びかけたりする。